

関西大学 客員教授講演会

スラヴ音楽の魂

～ウクライナ・ロシアの音楽家たちの今～

《関西大学グリークラブと共に》



関西大学客員教授・ウクライナチェルニーヒウフィルハーモニー交響楽団 常任指揮者

[講演] 高谷 光信 Mitsunobu Takaya

関西大学客員教授、東京混声合唱団 指揮者、ウクライナ・チェルニーヒウフィルハーモニー交響楽団 常任指揮者、一般社団法人 日本ウクライナ音楽協会 理事長、四條畷市市民総合センター NMP 芸術監督。ウクライナ国立チャイコフスキー記念音楽院指揮科首席卒業。『ウクライナ国際ホロヴィッツピアノアカデミー』『ウクライナ国際シヴィール音楽祭』『ウクライナ国際音楽祭・キーウ夏の音楽の夕べ』『ウクライナ国際バルトケーヴィッチ音楽祭』に出演。2010年より『ウクライナ国際指揮マスタークラス』の講師・審査員を務める。現在までに東京混声合唱団、神戸市混声合唱団、ウクライナ国立合唱団ドゥムカ、リヴィウ国立フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団、セントラル愛知交響楽団、愛知室内オーケストラなどを指揮。

2017年より故フジコ・ヘミングと共演を重ねる。《題名のない音楽会》《かんさい熱視線》(NHK大阪・戦地から奏でる“希望のムジカ”ウクライナと日本の音楽家たち 2022年9月2日放送)《NHKクラシック倶楽部》《NHKクラシック音楽館》など、多数のTV番組に出演。大阪芸術大学演奏学科客員准教授。名古屋芸術大学・武庫川女子大学音楽学部、各非常勤講師。第16回京都芸術祭京都市長賞 受賞、チェルニーヒウ州文化功労賞 受賞 (2012年7月ウクライナ) チェルニーヒウ州行政長 文化功労感謝状 受彰 (2019年7月ウクライナ)

[講演] スラヴ音楽の魂 ～ウクライナ・ロシアの音楽家たちの今～

- ①私とウクライナとの出会い
- ②ウクライナでの音楽活動
- ③ロシアによるウクライナ侵攻 ～両国の音楽家たちの今～
- ④「鶴」という歌について

[関西大学グリークラブコンサート] 指揮：高谷光信

- ❖ロシア民謡 カチューシャ (M.イサコフスキー作詞・M.ブランテル作曲)
- ❖ウクライナ歌謡 私のキーウ (D.ルツェンコ作詞・I.シャモー作曲)

[関西大学グリークラブ]

関西大学グリークラブは1949年に創部された、関西大学唯一の男声合唱団です。関西大学の文化会に所属している公認団体で、毎年12月に開催する定期演奏会を中心に活動しています。卒業式や入学式など、関西大学の各式典での演奏を依頼されています。吹田市主催のイベント等での演奏や、他大学とのジョイントコンサート等の演奏機会や過去には法政大学アリオンコールとの合同演奏会(隔年・東京にて開催)など、各方面で活動を行っています。



申込
不要

2025年2月26日(水) 13:30～15:00
関西大学 千里山キャンパス KUシンフォニーホール [キャンパスマップ](#)→



※ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。お問い合わせ：関西大学学長室学長課 06-6368-1121 (代表)